

●研修報告（山口県自主防災組織交流大会）

・日 時：平成31年3月21日（木）13：30～17：00

・場 所：山口県セミナーパーク

・参加者：下関市議会議員 星出恒夫
自主防災組織、市町職員等、約150名

・内 容：

①自主防止組織活動事例紹介

- ・山陽小野田市の赤崎セーフティネットワークの中込理事から報告があった。
- ・23自治会ある中で、22地区で自主防災組織がある。人口は5,062人
- ・現在実施している防災訓練、防災アンケート、防災士出前講座について説明があったと同時に今後もこの活動を継続していくことの報告があった。

②土砂災害警戒区域、ハザードマップの活用

- ・山口県土木建築部河川課の伊藤さんからの説明
- ・土砂災害の中でも水と岩の混じる土石流が最も危険である旨の説明があった。
- ・平成30年7月豪雨災害における死者について、広島県、愛媛県では土砂災害による犠牲者が多い。岡山県では洪水被害で犠牲者が多く出たことの報告があった。
- ・山口県内では平成28年12月に全域での土砂災害警戒区域、特別警戒区域の指定が完了している。

③県民参加型シェイクアウト訓練の報告

- ・（一社）いのちを守る防災危機管理協会代表理事の幸坂美彦氏より、県内で行われたシェイクアウト訓練の様子を報告があった。

④グループワーク（イメージTEN）

- ・幸坂氏がコーディネーターとして、「静岡県ふじのくに」のイメージトレーニンググループワークで実施した。イメージTENとは災害時に自主防災組織がどのように対応したら良いかを具体的に考えるイメージトレーニングである。この日は身近に起こることの多い土砂災害を想定し、10項目の課題について、各グループに分かれてイメージトレーニングを実施した。

山口県自主防災組織交流大会 次第

平成31年3月21日(木)

13:30~17:00

山口県セミナーパーク大研修室

1 開会あいさつ

山口県総務部 危機管理監 村田 友宏

2 取組報告等

(1) H30年度知事表彰団体等の活動事例紹介

・赤崎セーフティーネットワーク 理事 中込 誠 氏

(2) 土砂災害警戒区域、ハザードマップの活用等

(3) 県民参加型シェイクアウト訓練の報告について

3 グループワーク (イメージTEN)

指導：(一社)いのちを守る防災危機管理協会

代表理事 幸坂 美彦 氏

<配布資料>

- ◇ 赤崎セーフティーネットワーク活動事例紹介
- ◇ 土砂災害警戒区域、ハザードマップの活用等について
- ◇ 自主防災組織の活動事例
- ◇ 自主防災アドバイザーを派遣します!
- ◇ イメージTEN